



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.19 / 2007年10月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第19号をお届けします。

今回は、2007年8月20日(月)～24日(金)に朱鷺メッセ(新潟)で開催された2007年アンテナ伝播国際シンポジウム(ISAP2007)と、2007年9月14日に韓国のJeju(済州島)で開催された韓国国内会議「2007 Autumn Microwave & Radio Wave Conference」について報告いたします。

【1】2007年アンテナ伝播国際シンポジウム(ISAP2007)

8月20日(月)～24日(金)に朱鷺メッセ(新潟)で開催されたISAP2007は、一般投稿論文数412件(33カ国/地域)、採録論文数364件(30カ国/地域)、登録参加者数577名(内、同伴者数42名、31カ国/地域)、総参加者数724名(展示を含む)と、ISAP2000に次いで歴代2番目の規模で、盛大かつ成功裏に開催されました。これもひとえに、参加していただいた皆様のおかげであると、関係者一同、感謝している次第です。どうもありがとうございました。ISAP2007のホームページ(<http://www.isap07.org/>)には、下記の写真(一部を除く)のほか、各種表彰の受賞者の情報も掲載されており、今後もISAP2007の関連情報を提供していく予定です。現在、今年12月完成を目処にISAP2007報告書を作成中であり、来年早々には、このホームページに掲載できるものと思っています。



オープニングセレモニー



バンケットの風景



浴衣教室の成果



クロージングセレモニー

【2】2007 Autumn Microwave & Radio Wave Conference

この会議は、主にアンテナ伝播・EMT・EMCJを網羅した韓国の国内大会で、日本でいえば、ソサイエティ大会の規模、分野を小さくしたようなものです。日本側から6名(堀,宇野,新井,菊間,長,山田)の先生方が招待されて参加し、韓国のアンテナ・伝搬研究者と交流を深めてまいりました。午前のPoster Session(70件),お昼のKeynote Speech(2件),午後のOral Session(9パラレルセッション:合計87講演)からなる大会で,今回は日韓それぞれ5講演からなるSpecial Session(英語セッション)が企画されました。お昼のKeynote Speechでは,堀委員長からIEICEの紹介と"Ultra-broadband antennas and downsizing technique for wireless broadband communications"と題したTutorial講演が行われ,昼食後のSpecial Sessionと合わせ,実りある日韓技術交流でした。と,ここまでは山田幹事に提供していただいた報告書ですが,日本から出席したメンバーをご覧になればおわかりのように,日韓交流は昼間だけでなく,というよりもむしろ,夜の方が充実していたのではないかと推察しています。



【3】AP研副委員長の戯言

私事ではありますが,10月1日より金沢工業大学(以下,金工大)に転職いたしました。30年を超える三菱電機での経験を将来の日本を支える若者に伝え,育成していくことが,私の第二の人生における使命であると思っており,基礎・専門教育のみならず,日本人,社会人,技術者として必要な人間形成教育にも微力を注ぎたいと思っています。

金工大には,アンテナ関係では,水澤先生,片木先生,別段先生,青木先生,野口先生と5名の先生がお揃いで,私を含めるとアンテナを専門とする教員が6名になります。こんな大学は他にないでしょう。アンテナに関するあらゆるご相談に対応できますので,是非,金工大にお越しください。特に企業関係の方,委託/共同研究と接待費を持ってきていただくことを期待しています。

堀委員長から副委員長就任を照会されたとき,委員長をはじめ,2人の幹事,幹事補佐がいずれも地方の大学教員であり,在京で大学以外の人をお願いしたいというのが私を副委員長に任命された理由であったように思います。しかし,今回,いずれの条件からはずれてしまいました。今後の私の進退は,堀委員長にお預けしております。ところで,私の転職に関してAP研の多くの関係者からも言われましたが私も北陸に赴任することになるとは,やはり堀先生とは腐れ縁ですかね。



< 問合せ先 >

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 牧野滋(金沢工業大学)

E-mail: ap_ac-chair@mail.ieice.org